

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第11週の発生動向

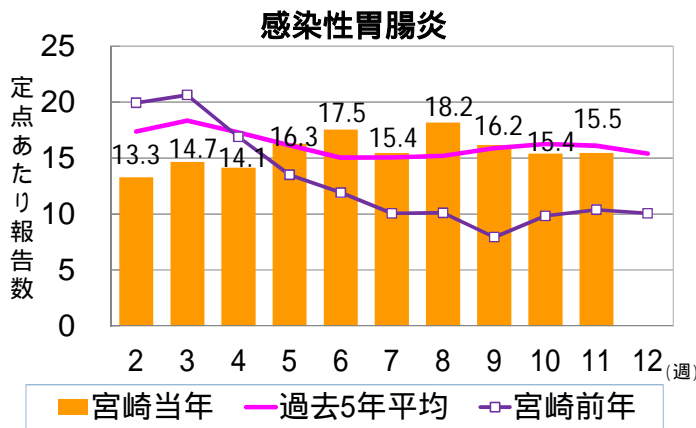
定点医療機関からの報告総数は1,601人(定点あたり38.4)で、前週比87%と減少した。

前週に比べ大きく増加した疾患はなく、減少した主な疾患は水痘とインフルエンザであった。

インフルエンザ・小児科定点からの報告

【感染性胃腸炎】

・報告数は557人(15.5)で前週比100%と横ばいであった。例年同時期の定点あたり平均値(16.1)と同程度である。日南(36.3)、小林(29.7)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から4歳が全体の約4割を占めた。



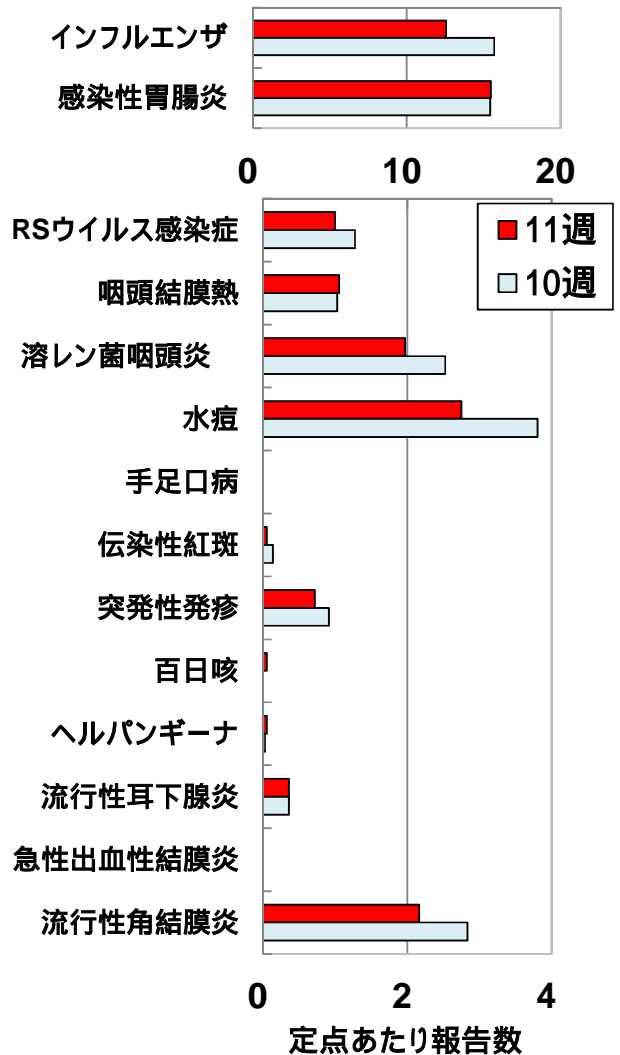
【インフルエンザ】

・報告数は741人(12.6)で前週比80%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値(12.4)と同程度である。小林(25.8)、日南(20.2)保健所からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の28%、6~9歳が29%、10~14歳が21%、15~19歳が4%、20歳代から50歳代が16%、60歳以上が2%を占めた。

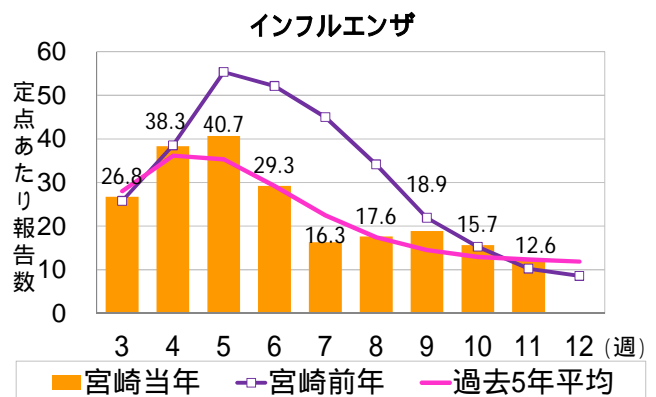
基幹定点からの報告

マイコプラズマ肺炎：延岡(1人)保健所から報告された。患者は6歳であった。

〈前週との比較〉



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	咽頭結膜熱(5.3)、感染性胃腸炎(36.3)、水痘(8.0)
小林	感染性胃腸炎(29.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値 *
 ・咽頭結膜熱(3.0)
 ・感染性胃腸炎(20.0)
 ・水痘(7.0)

全数把握対象疾患

- 1 類感染症： 報告なし。
- 2 類感染症： 結核 2 例。
- 3 類感染症： 報告なし。
- 4 類感染症： 報告なし。
- 5 類感染症： 報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状 等
2類	結核	宮崎市	70 歳代	肺結核	喀血
			80 歳代	肺結核	咳、痰

病原体情報（衛生環境研究所微生物部 平成 25 年 3 月 17 日までに検出）

ノロウイルス検出情報
 検出なし。（検査依頼なし）

全国第 10 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 27.1 で、前週比 97%と横ばいであった。今週増加した主な疾患は感染性胃腸炎と水痘で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

感染性胃腸炎の報告数は 32,737 人（10.4）で、前週比 108%と増加した。福井県（17.5）、大分県（17.1）、熊本県（16.0）からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 4 歳が全体の約 4 割を占めた。

水痘の報告数は 3,864 人（1.2）で、前週比 116%と増加した。宮崎県（3.8）、沖縄県（3.6）、大分県（3.4）からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 5 歳が全体の約 8 割を占めた。

インフルエンザの報告数は 51,190 人（10.4）で、前週比 85%と減少した。愛知県（27.3）、福井県（21.4）、鹿児島県（21.1）からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が 27%、6～9 歳が 26%、10～14 歳が 17%、15～19 歳が 4%、20 歳代から 50 歳代が 20%、60 歳以上が 6%を占めた。

全数把握対象疾患（全国第10週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	335例				
3類感染症	細菌性赤痢	5例	腸管出血性大腸菌感染症	14例	腸チフス	3例
4類感染症	E型肝炎	1例	チクングニア熱	2例	デング熱	4例
	レジオネラ症	13例				
5類感染症	アメーバ赤痢	14例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎	3例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	後天性免疫不全症候群	12例
	ジアルジア症	1例	先天性風しん症候群	1例	梅毒	15例
	破傷風	1例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2例	風しん	241例
	麻しん	12例				

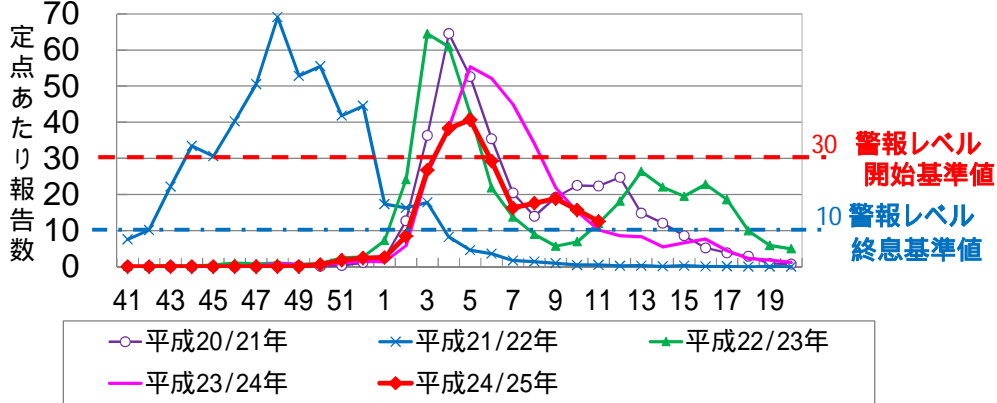
*風しん：東京都（93例）、千葉県（27例）、神奈川県（26例）からの報告が多い。

インフルエンザ情報《県内第 11 週、全国第 10 週（再掲）》

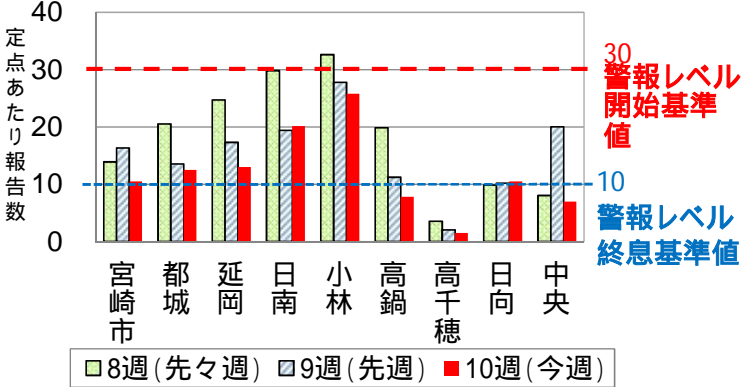
県内 11 週インフルエンザ発生動向

平成 25 年 3 月 11 日～3 月 17 日までの 1 週間で 741 人（定点あたり 12.6）の報告があり、前週の約 8 割に減少した（図 1）。例年同時期の定点あたり平均値（12.4）と同程度である。保健所別報告数を（図 2）、年齢群別患者発生割合を（図 3）に示す。

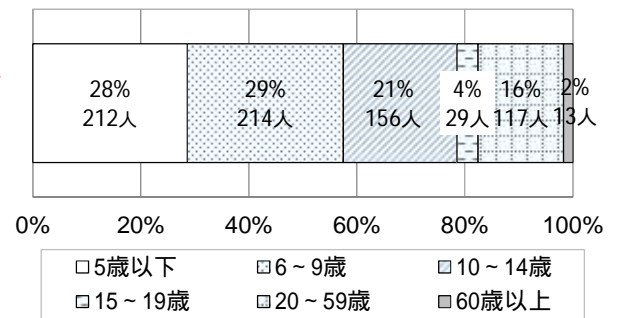
（図 1）インフルエンザ発生状況（シーズン別，宮崎県）



（図 2）インフルエンザ 保健所別報告数



（図 3）インフルエンザ 年齢群別患者発生割合



インフルエンザ 警報・注意報レベル状況

インフルエンザの定点あたり報告数と警報・注意報レベル発生状況

：警報レベル、：注意報レベル、- 警報・注意報レベルなし

保健所	今週 (11週)		1週前 (10週)		2週前 (9週)		3週前 (8週)		4週前 (7週)		5週前 (6週)	
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎県全体	12.6		15.7		18.9		17.6		16.3		29.3	
宮崎市	10.5		16.3		13.9		13.9		13.4		22.6	
都城	12.5		13.5		20.5		18.0		23.8		40.6	
延岡	13.0		17.3		24.7		25.4		21.0		38.1	
日南	20.2		19.4		29.8		23.4		19.6		26.6	
小林	25.8		27.8		32.6		30.4		28.6		42.4	
高鍋	7.8	-	11.2		19.8		18.2		10.3		27.2	
高千穂	1.5	-	2.0	-	3.5	-	10.5		1.5	-	3.5	-
日向	10.5		10.2		9.8		6.0	-	7.2	-	24.0	
中央	7.0	-	20.0		8.0	-	11.5		7.0	-	16.5	

宮崎県全体：警戒レベル終息基準値（10）を下回るまで警戒レベル継続

保健所別：当該週の定点あたり報告数のみにより注意報・警戒レベルを表示

全国第 10 週インフルエンザ発生動向

平成 25 年 3 月 4 日～3 月 10 日までの 1 週間で 51,190 人（10.4）の報告があり、前週比 85%と減少した。愛知県（27.3）、福井県（21.4）、鹿児島県（21.1）からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が 27%、6～9 歳が 26%、10～14 歳が 17%、15～19 歳が 4%、20 歳代から 50 歳代が 20%、60 歳以上が 6%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2013年 第11週(03月11日～03月17日)

疾病名		第10週	第11週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	925	741	168	125	91	101	129	47	3	63	14
	定点あたり	15.68	12.56	10.50	12.50	13.00	20.20	25.80	7.83	1.50	10.50	7.00
RSウイルス 感染症	報告数	46	36	9		3	4		6	1	13	
	定点あたり	1.28	1.00	0.90	0.00	0.75	1.33	0.00	1.50	1.00	3.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	37	38	5	2	6	16	1	3		5	
	定点あたり	1.03	1.06	0.50	0.33	1.50	5.33	0.33	0.75	0.00	1.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	91	71	7	7	22	9	1	11		14	
	定点あたり	2.53	1.97	0.70	1.17	5.50	3.00	0.33	2.75	0.00	3.50	0.00
感染性胃腸炎	報告数	555	557	96	75	60	109	89	43	7	62	16
	定点あたり	15.42	15.47	9.60	12.50	15.00	36.33	29.67	10.75	7.00	15.50	16.00
水痘	報告数	137	99	34	17	9	24	5	7		3	
	定点あたり	3.81	2.75	3.40	2.83	2.25	8.00	1.67	1.75	0.00	0.75	0.00
手足口病	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	5	2	1	1							
	定点あたり	0.14	0.06	0.10	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	33	26	11	2	5	1	1	5		1	
	定点あたり	0.92	0.72	1.10	0.33	1.25	0.33	0.33	1.25	0.00	0.25	0.00
百日咳	報告数		2						2			
	定点あたり	0.00	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	2	1	1							
	定点あたり	0.03	0.06	0.10	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	13	13		5		3	1	2		1	1
	定点あたり	0.36	0.36	0.00	0.83	0.00	1.00	0.33	0.50	0.00	0.25	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	17	13	11	1	1						
	定点あたり	2.83	2.17	3.67	0.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	1			1						
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2013年第1週～11週)

2類感染症	結核	49例(2)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	8例			
4類感染症	E型肝炎	1例	つつが虫病	4例	
	アメーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎 3例
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	1例	梅毒 2例
	破傷風	1例	風しん	3例	

()内は今週届出分、再掲